

ミッケ！

(1) 概要

生け垣の中に隠されたおもちゃや小物。自然の中にかくれんぼ。さ〜てみんなはいくつ見つけられるかな。

「ミッケ！」



(2) 準備物

・おもちゃ（10個位）

・小物（10個位）

※どちらも、自然素材の物と人工素材の物を組み合わせて準備する。

例 わらじ 竹とんぼ カップ麺 携帯電話 めがね シャンプー 人形 時計
クラフト作品 はさみ など

※準備物については原則、団体でご準備いただくことになります。（詳しくは、P119の<ご注意>を参照してください。）

(3) 手順

- ① 参加者（子ども）が来る前に、垣根（生け垣）の中に準備物を見えるように置いておきます。
- ② 参加者（子ども）に、「この先の生け垣の中にたくさんのおもちゃや小物、こんなところにあったら変だぞ！と思う物が隠されているよ。かくれんぼしているみんな（おもちゃや小物）を見つかることができるかな？」と投げかけます。さらに、頑張ってたくさん見つけていこうね。でも見つけても大きな声を出さずに、何個見つけられたかゴールしたら教えてね。」と告げます。
- ③ さらに、「前の人がこの木まで行ったら次の人はスタートしようね。」と伝えておき、ゴール地点に移動して子どもたちを待ちます。
- ④ ゴールしてきた子どもたちを迎え、何個見つけられたか耳元で静かに聞きます。
- ⑤ 全員がゴールしたら、ゆっくり戻りながらみんなで見つけたおもちゃや小物を確認していきます。
- ⑥ 最後にもう一度、まだ見つけられていないおもちゃや小物を紹介しながら歩いていきます。

(4) アクティビティのポイント（特性）

- ① 自然の中に隠した物にかくれんぼのように見つけようとする中で、普段目に見えない木々の色や枝ぶりといった自然の様を見たり気づいたりすることができます。
- ② 自然に形作られた物と人工的に（用途に合わせて）形作られた物との違いに気づくことができます。

(5) 留意点

- ① 活動前に、危険動物（ハチなど）の有無を十分確認します。
- ② 隠す物の置き場所は、手前や奥、上や下など広い視野で探せるように考えます。
- ③ 子どもの「あっ！」という発見や、「あー！」という納得の気持ちを、振り返りながら大切に扱い、みんなの思いにします。（共有・共感）

